

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児科学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期	後期	教室名	802
担 当 教 員	麻生 雄太郎				
実務経験と その関連資格	一般病院・老健でのリハビリテーションに従事し5年勤務。その後ヒューマンライツ福祉協会にて障害者デイサービスに従事し、脳性麻痺、クラインフェルター症候群、アンジェルマン症候群などのリハビリテーションを経験。2014年より児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業において、1歳から7歳を対象とした発達障害児に対するリハビリテーションに従事する。運動発達を中心に、座位姿勢や鉛筆やハサミの使い方などの生活動作支援も実施し、児童のフォローをしている。年間のべ2700症例を担当する。保育所訪問や小・中学校訪問などによる地域支援にも従事する。				

《授業科目における学習内容》

臨床場面での具体的な事例の話を加えながら、発達障害領域で作業療法士が関わらせていただくことの多い疾患の基礎知識について教科書や資料に基づいて講義を実施していく。実習や国家試験で関わりの深い脳性麻痺や自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・てんかんなどについては特に詳しく説明する。

《成績評価の方法と基準》

定期試験 : 70%
小テスト・課題 : 30%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書: 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野小児科学 第5版 (富田 豊 編集・医学書院)

《授業外における学習方法》

各単元の教科書を事前に確認下さい。
授業では作成したレジュメに沿って進行します。

《履修に当たっての留意点》

発達障害領域は実際の臨床場面のことや対象の患者様のことがイメージしづらい分野だと思います。小児科学で勉強することがどのように臨床での実習で活かしていく事ができるのか、知識と実際のイメージを結びつけながら講義を進めていきます。この先、実習で重症心身障害児者施設や発達障害児に関わる場合に、少しでも当科目で勉強したことが役に立てば幸いです。また、現在発達障害領域におけるOTのニーズは非常に高いと言えます。皆さんに少しでも興味を持って頂けるよう楽しく授業を進めていきます。よろしくお願いします。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	小児科学と発達障害領域でのOTとの関わりを理解する。 OTの活躍する小児分野を知る。	教科書・配布資料	予習: 教科書序説を読む
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション		
第2回	授業を通じての到達目標	正常発達について理解できる。発達の順序を学ぶ。	教科書・配布資料・ 動画	予習: 教科書第1章を読む 復習: 正常発達の順序や特徴について理解する
	各コマにおける授業予定	正常発達について		
第3回	授業を通じての到達目標	原始反射について理解できる。原始反射の出現と統合について順序を学び、記述できるようになる。	教科書・配布資料	予習: 教科書第3章を読む 復習: 正常発達と原始反射の関連を理解する
	各コマにおける授業予定	原始反射について		
第4回	授業を通じての到達目標	小児の循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患の一般的な病態について具体的に述べる事が出来る。	教科書・配布資料・ 演習	予習: 心臓の解剖学を復習しておく、呼吸の生理学を復習しておく、消化器の生理学を復習しておく
	各コマにおける授業予定	小児の循環器疾患・小児の呼吸器疾患・小児の消化器疾患		
第5回	授業を通じての到達目標	重症心身障害児者について/大島の分類の理解・変形・拘縮等のポイントをおさえてイメージできる。	教科書・配布資料	予習: 大島の分類について調べる 復習: 大島の分類を覚える
	各コマにおける授業予定	重症心身障害児者について		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	脳性まひについて①/麻痺の分類についての知識や臨床像について理解できる。	教科書・配布資料	予習:教科書第5章を読む 復習:麻痺の分類を覚える
	各コマにおける授業予定	脳性まひについて①		
第7回	授業を通じての到達目標	脳性まひについて②/麻痺の型についての知識や臨床像について類別し、記述できる。	教科書・配布資料	予習:教科書第5章を読む 復習:脳性まひの運動特徴を理解する
	各コマにおける授業予定	脳性まひについて②		
第8回	授業を通じての到達目標	脳性まひについて③/生活についてイメージし、臨床に繋げることができる。	教科書・配布資料・演習	復習:脳性まひ者の生活についてイメージする
	各コマにおける授業予定	脳性まひ者の生活について		
第9回	授業を通じての到達目標	発達障害について①/ASD・ADHDについて説明できる。	教科書・配布資料	予習:教科書第5章を読む 復習:ASD、ADHDの特徴を覚える
	各コマにおける授業予定	発達障害について①		
第10回	授業を通じての到達目標	発達障害について②/MR・LD・DCDについて説明できる。	教科書・配布資料・動画	予習:教科書第5章を読む 復習:MR・LD・DCDの特徴を覚える
	各コマにおける授業予定	発達障害について②		
第11回	授業を通じての到達目標	発達障害について③/具体的にイメージし、臨床に繋げることができる。	配布資料・演習	復習:発達障害についての特性を理解できる
	各コマにおける授業予定	発達障害について③		
第12回	授業を通じての到達目標	出生体重、新生児評価、新生児・周産期異常症状を理解できる。新生児評価について、アプガースコア等、具体的に説明できるようになる。	教科書・配布資料	予習:教科書第3章を読む 復習:新生児評価を覚える
	各コマにおける授業予定	新生児・未熟児疾患について		
第13回	授業を通じての到達目標	先天異常と遺伝病について(染色体異常・先天奇形・代謝異常など)が分類して説明できる。	教科書・配布資料	予習:教科書第4章を読む 復習:代表的な染色体異常を覚える
	各コマにおける授業予定	先天異常と遺伝病について		
第14回	授業を通じての到達目標	てんかんについて、分類や症状について理解できる。状態や症状を分類できる。	教科書・配布資料	予習:教科書第5章を読む 復習:てんかんの分類を覚える
	各コマにおける授業予定	てんかんについて		
第15回	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィーの疾患像について説明できる。	教科書・配布資料	予習:教科書第5章を読む 復習:筋ジスの分類と特徴について覚える
	各コマにおける授業予定	筋ジストロフィーについて		